

共通の目的に向けた 参加・協働のまちづくり

～『こどもまんなか社会』の視点から、 住み続けたいよこはまづくり～

地域の人や団体がみんなでまちづくりに取り組むと、どんなまちができるのか、
一緒に学び考えてみませんか？

子どもに直接関わりのない方も含めた地域のさまざまな立場の人や組織が、どうすれば子どもを中心に据えた地域づくりに関わることができるのでしょうか。

「こどもまんなか社会」を実現するための実践の一つである「まち保育」をテーマに、地域のどのような主体が関わり、どのように展開されていくのか、そしてそれが地域にもたらす具体的なメリットについてお話しいただくほか、ユニセフの「子どもにやさしいまちづくり事業」などの事例もご紹介いただきます。グループトークの時間では、地域で活動する仲間と出会い、学びを深めましょう。

「子どもにやさしいまちづくり」は、「みんなが幸せになれるまちづくり」でもあります。「地域を元気にしたい！」とお思いの方、ぜひご参加ください。

LECTURER



三輪 律江 氏

(みわ のりえ)

横浜市立大学大学院
都市社会文化研究科 教授

(株)坂倉建築研究所、横浜国大を経て2011年より横浜市大に。専門は建築・都市計画、参画型まちづくり、こどものための都市環境、環境心理学。複数自治体で建築審査会、都市計画審議会、住宅政策審議会、地域まちづくり審議会等の委員の他、まちづくりNPOの理事等も務める。

＼こんな方におすすめです／

- ・地域団体、地縁団体、地域づくりコーディネート等に関わる方
- ・まちを良くしたいという思いのある方
- ・まちづくりや子どもに関わりのある方
- ・「こどもまんなか社会」の実現に興味のある方 など

日時：2025年8月21日（木）15：00～17：00（14：30受付開始）

会場：横浜市市民協働推進センター スペースAB

定員：36名 参加費：無料（要事前申込）

申込締切：2025年8月14日（木）

申込QR



【主催・お問い合わせ】

横浜市市民協働推進センター

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50-10横浜市庁舎1F

TEL：045-671-4732